

第33回防衛セミナー実施概要

東アジアをめぐる情勢と対応



堀地南関東防衛局長



上地横須賀市長

平成30年5月29日（火）神奈川県横須賀市の横須賀芸術劇場 小劇場（ヨコスカ・ベイサイド・ポケット）において、横須賀市から後援をいただいて「東アジアをめぐる情勢と対応」をテーマに第33回防衛セミナーを開催しました。

当日は、堀地南関東防衛局長から開会挨拶があり、その後上地横須賀市長から来賓挨拶を頂戴しました。

第1部では岡講師が、ミサイル等の開発を始めとする最近の北朝鮮情勢についての説明及び防衛省・自衛隊の弾道ミサイル防衛システム強化のための取り組みについて説明をいたしました。来場者からは、「現在の課題が分かり、理解が深まりました。」等の感想が寄せられました。



岡防衛政策局次長



伊藤内閣参事官

第2部では、伊藤講師が過去の例を用いながらミサイル発射時のJアラートの伝達方法の説明や落下時における場所ごとの具体的な対応方法の説明をいたしました。「上空でミサイルを破壊し、広範囲で落下物が広がった場合はどうするのか」という質問に対しては、「落下に準じる形で情報伝達をすることになると考えている」との回答がありました。



田中防衛補佐官



川口隊長

第3部では、田中講師からは海上自衛隊横須賀地方隊、川口講師からは航空自衛隊第1高射群第2高射隊、及びニーマイヤ講師からは在日米海軍横須賀基地について説明がありました。「今まで知ることができなかった米軍の考え方を知ることができ有益だった」「空母があるということは日本が信頼されているということであるということが分かった」と、特にニーマイヤ講師の講演が好評でした。



ニーマイヤ氏

セミナーには多くの方にご来場頂き、「タイムリーな内容で、専門家による講演だったことから、ポイントが良く分かった」、「横須賀在住者として身近に感じていた防衛政策について知ることができ、参加して良かった」といった感想がありました。